

# 第一表 重要物資の国際比価 (31年8月末現在)

(注) 括弧内は前月比騰落

品目	単位	区分	日本		米 国	英 国	そ の 他	
			邦貨建	外貨建				
織 維	綿糸(20番手)	封度	M	¥ 205.0	¢ 56.9(+4.8)	¢65.0-66.0(0~+1.0)	¢ 60.00(-4.36)	¢香港40.7(-2.6)伊56.6(-1.1)
			E	190.8	53.0( 0)			
	綿織物(2003)	碼	M	56.2	15.6(+0.6)	16.5(0)		香港14.0(-0.5)
			E	54.0	15.0( 0)			
	人絹糸(ビス120D)	封度	M	267.0	74.2(+0.6)	86.0(0)	62.9(0)	伊 82.4(0)
スフ糸(30番手)	"	E	183.6	51.0(+2.0)				
		M	150.0	41.7(+1.1)	76.2(0)	63.0(0)		
鉄 鋼	鉄鉄(鑄物用2号)	噸	Q	28,500	\$ 79.2( 0)	\$ 62.2(+2.5)	\$ 47.2(0)	ベルギー67.0(0) フランス59.5(0)
			E	44,700	124.2( 0)	111.9(+9.4)	96.0(0)	ベルギー105.0(0) 西独89.7(0)
	棒鋼(19ミリ)	噸	M	70,000	194.4(+25)	122.5(+9.4)	119.5(0)	フランス108.0(0) 実勢115.118
			E	54,000	150.0(+5~+15)			西独109.5(0) (-2~+1)
厚板(12ミリ)	"	Q	50,700	140.8( 0)	106.9(+7.3)	93.8(0)	西独109.5(0)	
		Q	58,700	163.1( 0)	103.0(+7.7)	103.3(0)	西独139.5(0) フランス153.8(0)	
非鉄金属	電 気 銅	封度	Q	168	¢ 46.6(-1.3)	¢ 40.0( 0)	¢	¢ベルギー 38.6(+1.8)
			M	200	55.5(+5.1)	38.1(+0.5)	38.0(+0.4)	
	電 気 鉛	"	Q	64	17.9(0)	15.8( 0)	M14.5(+0.1)	Mメキシコ 14.5(-0.1)
			Q	50~59	14.0~16.4(0)	13.5( 0)	M12.0(+0.1)	Mメキシコ 11.8(+0.3)
	電 錫	"	Q	368	102.1(+1.3)	100.0(-0.3)	M96.5(-1.0)	Mシンガポール 94.9(+0.2)
			Q	88~95	24.6~26.5(0)	27.1(+1.2)	24.6(+1.0)	カナダ 24.5(+0.7)
アルミ	"	Q						
		Q						
窯業	セメント	噸	M	6,300	\$ 17.5(-0.8)	\$21.0~23.5(0)	\$ 14.5(0)	西独16.5-18.0(0) フランス15.8(0)
			E	6,300~6,750	17.5~18.8(0~-0.2)			西独13.5~14.5(0)
化学製品	硫酸(苛性ソーダ(固型)レーヨンパルプ)	噸	E	20,935	58.15(-1.5)	43.0(-2.0)		西独50.0(0) イタリア52.0(0)
			M	42,000	116.7(0)	82.0(-3.0)	76.0(0)	
			Q	80,799~81,571	224.4~226.6(+4.6~5.5)	CIF 209.0(0)		カナダ C I F 200.0(0)
動植物製品	大豆原油生ゴム(RSS3号)原皮(牛)	ドラム封度	M	27,500	¢ 76.4(-1.4)	¢ 51.0(-0.6)	¢33.0(-2.4)	¢シンガポール 29.9(-0.2)
			M	108	¢ 30.0(-0.6)	¢ 33.5(-0.8)		
			M	79	21.8( 0)	15.5~16.5(+0.5)		
燃料	石炭(粘結炭)	噸	M	6,750	\$ 18.8(0)	\$ 12.3~12.5(0) C&F 30.0(0)		

- 備考
- 区分欄、Qは建値、Mは市中価格、Eは輸出価格。
  - 織 維
    - 海外価格はロイター電などによる。
    - 香港綿布は2003番相当のもの。
    - 人絹糸海外価格は150D価格を採用(我国での150Dの生産取引は僅少)
    - 英国のスフ糸は36番手単糸綿紡式によるもの。
  - 鉄 鋼
    - 日本のQ(生産者価格)は鉄鉄では富士製鉄9月積建値、鋼材では八幡製鉄10.11月積建値より全国平均運賃鉄鉄1,000円、鋼材1,300円をそれぞれ差引いて算出。
    - 海外は鉄鉄
      - ベルギー 鑄物用高橋鉄ミュッソン(基準地)渡し
      - フランス " ロングイ( )渡し
      - 英 国 ベーシック鉄
    - 英国は公示価格よりわが国同種運賃を差引いて算出。
    - 米国は U.S スチール社発表値。
    - 西独は公示価格から取引税4%を差引いた。
    - 厚板は米国、英国9~38ミリ、フランス加盟国9.5~25ミリ。ベルギーはトーマス鋼。
  - 非鉄金属
    - アルミの国内建値は精錬業者販売価格。
    - 亜鉛、アルミ国内建値の安値は輸出原材料向特価。
  - セメント
    - フランスは包装装を含まない。
  - 化学製品
    - 苛性ソーダはアンモニア法製品価格。
    - レーヨンパルプ国内価格は7~12月期建値。海外価格は7~9月期CIF日本価格。
  - 動植物製品
    - 生ゴムの英相場はRSS1号。
    - 米国原皮銘柄バックースライト紐奇現物相場、国内相場は取引単位が枚数のため概算。
  - 燃 料
    - 内外とも約 8,000 cal 国内炭は本州特定製鋼所向30年度直売炭低。
- (7) 薄板は米国1.7ミリ、英国3ミリ以下、西独、フランスには寸法エキストラそれぞれ7.93ドル、4.35ドルを加算。
- (8) フランス薄板価格は、5月以降本表の数字に訂正。

第二表

海外価格を100とするわが国価格指数の推移

(注) 備考は第一表に準ず。卸売物価指数は昭和25年6月基準指数の比較。

品目	区分	基準国	28年9月	29年9月	30年9月	30年12月	31年3月	31年6月	31年7月	31年8月
綿糸	M	米 国	105.3	90.5	83.9	76.2	83.0	87.0	80.2	87.5
	M	"	102.5	86.2	84.8	87.0	91.0	~88.3	~86.2	~86.2
綿織物	M	イ タ リ ー	91.9	66.7	65.5	77.5	83.3	91.0	90.9	94.5
	M	英 国	74.2	57.5	59.7	65.7	61.7	69.8	91.5	90.0
人絹	M	イ タ リ ー	91.9	66.7	65.5	77.5	83.3	91.0	91.5	90.0
	M	英 国	74.2	57.5	59.7	65.7	61.7	69.8	64.4	66.2
スフ	M	イ タ リ ー	91.9	66.7	65.5	77.5	83.3	91.0	91.5	90.0
	M	英 国	74.2	57.5	59.7	65.7	61.7	69.8	64.4	66.2
棒	Q	ベ ル ギ ー	117.2	89.4	108.6	108.6	110.3	118.3	118.3	118.3
	Q	西 独	107.1	91.2	108.3	108.3	118.4	128.6	128.6	128.6
厚板	Q	西 独	107.1	91.2	108.3	108.3	118.4	128.6	128.6	128.6
	Q	米 国	135.0	126.9	102.0	102.1	102.4	112.6	119.8	116.5
電気銅	Q	米 国	135.0	126.9	102.0	102.1	102.4	112.6	119.8	116.5
	Q	米 国	135.0	126.9	102.0	102.1	~109.6	112.6	119.8	116.5
硫安	E	西 独	126.2	118.4	115.1	119.6	118.5	120.9	119.3	116.3
	E	西 独	126.2	118.4	115.1	119.6	118.5	120.9	119.3	116.3
苛性ソーダ	M	英 国	179.1	136.9	134.1	146.2	155.4	153.6	153.6	153.6
	M	英 国	179.1	136.9	134.1	146.2	155.4	153.6	153.6	153.6
レーヨンバルブ	Q	カ ナ ダ	123.4	116.8	115.4	115.4	109.5	109.5	109.5	112.2
	Q	カ ナ ダ	123.4	116.8	115.4	115.4	~111.0	~111.0	~111.0	~113.3
大豆原油	M	米 国	121.0	182.9	185.3	164.4	129.2	148.4	150.8	149.8
	M	米 国	121.0	182.9	185.3	164.4	129.2	148.4	150.8	149.8
生ゴム	M	シンガポール	115.1	115.0	110.9	100.0	103.4	103.6	101.7	100.3
	M	シンガポール	115.1	115.0	110.9	100.0	103.4	103.6	101.7	100.3
原皮	M	米 国	172.3	149.4	138.9	136.3	121.7	132.7	145.3	140.6
	M	米 国	172.3	149.4	138.9	136.3	~125.3	~141.3	~136.3	~132.1
卸売物価指数	M	米 国	141.0	136.0	133.4	134.2	134.6	135.4	135.9	—
	M	西 独	130.8	126.1	122.5	121.7	122.8	126.1	126.2	—

## 解 説

8月中の海外主要商品相場は、砂糖、大豆油、生ゴムなど軟化したものもみられたが、鉄鋼が引き続き強調を示したほか、小麦、皮革、羊毛、綿花、アルミ、錫などは微騰し、また海上運賃市況も秋口を控え早くも反騰に転ずるなど、総じてやや堅調な推移をみせた。なお、前月末スエズ運河問題を契機に騰勢をみせた国際商品相場（特に生ゴム、錫、銅等）は、その後の国際政局の推移とも関連し、8月中央頃より模様ながめの空気が濃化し、再び落着きを取戻している。これらの情勢を映じ、英国ロイター、米国ダウジョーンズ両国際商品相場指数も、月中0.2%、0.9%の微騰にとどまった。

一方、わが国は、鉄鋼の高騰に加えて建築材料、燃料などが続騰したほか、繊維が反騰し、6月、7月と微騰に推移した卸売物価も、8月中は1.2%騰貴と、年初来最高の騰貴率をみせ注目をひいた。このように、わが国の値上り幅が大きかったため、国際比価関係は悪化の傾向を強めた。

なお、主要国の年初来の卸売物価情勢を比較してみると次のごとく、わが国の騰貴率が最も大きいのは注意を要する。

## 主要国物価騰貴率（本年1～7月間）

米 国	2.4%
英 国	2.5
仏 国	1.8
西 独	0
日 本	3.8 (5.0)

(注) ( ) 内は1～8月間の騰貴率

次に、主要商品別に内外価格の動きを概観すると以下の通りである。

## (1) 織 維

繊維市況は、過剰生産という軟化要因があるにもかかわらず、輸出成約の好調、業界の在庫保有力の増大、更には、仕手買いの影響などに支えられて、綿糸を中心に市中、輸出価格ともに軒並み反騰した。もつとも、この間綿製品は、市中価格の反騰に対し、輸出価格は強もち合い程度に推移したため、前月解消した二重価格関係が再び表面化した。

他方、海外価格は化繊、綿布がほぼもち合い、綿糸は米国のもち合い乃至微騰を除き、イタリー、香港の市中価格、英国の輸出価格がともに軟化を示した。この結果、繊維の比価関係は、全般的にわが国の割安幅が縮小したが、とくに綿糸市中価格の対イタリー比価では、従来のわが国の割安が割高に転じ、また綿糸布の対香港市中価格比では、わが国の割高幅がさらに拡大したのが注目された。

## (2) 鉄 鋼

海外市況は、米国の鉄鋼スト解決による賃上げを理由にして、8月7日以降トン当たり平均8.50ドル（6.25%）の値上げを実施したのをはじめ、カナダ、イタリー、スウェーデンなどでも値上げが行われ、またオーストリーに於ても、値上げ問題が起つている。また、欧州大陸諸国は、米国の中心とした旺盛な買付けと秋の需要増を見越した国内からの注文増によつて、本年も夏枯れはみられず、海外市況の基調は依然として強い。

一方、わが国市中価格は、国際市況の堅調に加えて、投

資需要を中心とする内需の急増に生産が伴わず、極端な需給逼迫商情が続いており、市中相場は各品種とも動乱後の高値を更新、これにつれて輸出価格も騰貴した。

このため建値でみた比価関係は、わが国が据置かれたため、割高の幅を縮小したが、わが国市中相場の値上り幅は大きいので、相場の実勢では割高の幅を拡大したものと見える。

### (3) 非鉄金属

スエズ問題を契機に反撥に転じた海外市況は、8月上旬をピークとして早くも高値訂正に向い、その後は格別の材料もないまま、総じて反撥前より若干高い水準で小康状態を続けている。ただアルミ価格は需要の旺盛と賃金上昇とから3~4%方高騰した。

これに対し、わが国では建値段階では銅の引下げ、錫の値上げと区々商状ながら、市中相場では銅、鉛、アルミが強調を持続、加えて銅、アルミなどの精錬業者販売価格も先行き引上げが予測されているなど、海外相場の落ち着きをよそ

に国内市況実勢は明らかに海外以上の騰勢をみせている。

### (4) その他の商品

大豆原油は、内外ともほぼ同様の下落をみせ、また生ゴムも、スエズ問題の成行きながめのうちに内外ともに軟化し、比価関係にも格別変化はみられなかつた。原皮は海外は需要活発から値上りしたのに対して、わが国は季節的に弱もち合い、セメントは海外のもち合いに対し、わが国は生産過剰傾向から下落し、ともに比価関係は改善をみせた。また硫安も、わが国は増産とシーズンオフから軟化、一方、米国も統落したが、西独、イタリーはもち合いに推移したため、対欧比較では割高幅をやや縮小した。

しかし、苛性ソーダはわが国のもち合いに対して、米国は増産に伴い値下げしたため、割高幅を一層拡大、またレーヨンパルプも海外のもち合いに対し、わが国は石炭、ソーダなど原材料の値上りかたがた化繊市況の好調から7~12月期の値上げ(2~3%)が8月下旬に実現、このため割高の幅を一段と拡大した。

## 日 誌 (昭和31年8月)

### 国 内

- 6日 ○本行、担保の種類及び担保価格の改正実施
- 14日 ○本行政策委、高率適用手続の一部改正決定(20日実施)
- 16日 ○政府、LUA制度廃止実施
- 17日 ○政府、国際金融社に出資払込完了
- 18日 ○本行政策委、アメリカ合衆国通貨表示の手形を引当とする外国為替引当貸付の利子歩合を日歩6厘

5毛から日歩7厘へ引上げ方を決定(為銀の手形買取が20日以降より実施)

- 29日 ○本行政策委、カナダ国通貨表示の手形を引当とする外国為替引当貸付の利子歩合を日歩7厘5毛から日歩9厘5毛へ引上げ方を決定(為銀の手形買取が30日以降より実施)

### 海 外

- 1日 ○ビルマ、中共軍の越境に関し中共に抗議
- 2日 ○アイゼンハワー大統領、1956年関税簡素化法案に署名
- 3日 ○全米鉄鋼労働組合、新労働協約に正式調印  
○アイゼンハワー大統領、米国の国際小麦協定加盟延長法案に署名  
○インドネシア、輸入許可の発給を一時停止
- 4日 ○インドネシア、対オランダ債務の支払拒否を決定
- 5日 ○ラオス政府と同国共産政権の間に総選挙実施及び統一政府樹立に関し了解成立
- 6日 ○インドネシア、輸出制度を改正
- 7日 ○米・パキスタン余剰農産物売却協定(第3回分)調印
- 10日 ○カナダ銀行、公定歩合を3%より3.25%へ引上げ
- 12日 ○エジプト、ナセル大統領スエズ問題国際会議への参加拒否を言明
- 14日 ○米華余剰農産物協定調印(台北で)
- 15日 ○ソ連・インドネシア貿易協定調印
- 16日 ○スエズ問題国際会議ロンドンで開催

- 16日 ○豪州、インフレ対策協議のため各州首相会議開催
- 21日 ○米、大手市中銀行、プライム・レートを3.75%より4%へ引上げ
- 23日 ○米、連邦準備制度理事会、ニューヨーク、シカゴ、フィラデルフィア、リッチモンド4連銀の公定歩合引上げを承認、24日より実施(2.75%より3%へ)
- 25日 ○オランダ銀行公定歩合を従来の3%から3.25%へ引上げ実施  
○中共、ラオス両首相会談
- 27日 ○米、連邦準備制度理事会、ボストン、アトランタ、セントルイス、ダラス4連銀の公定歩合引上げを承認、28日より実施(2.75%より3%へ)
- 29日 ○パキスタン、新設立内閣成立
- 29日 ○北ヴェトナム、ラオス両首相会談
- 30日 ○米、連邦準備制度理事会、カンサス・シティ連銀の公定歩合引上げを承認、31日より実施(2.75%より3%へ)
- 31日 ○インドの州再編(29州を14州及び4中央直轄地とする)来る11月1日から実施